



第 84 号

2015 年 (平成 27 年) 7 月 31 日

発行：鎌ヶ谷市国際交流協会  
鎌ヶ谷市富岡 1-1-3多文化共生推進センター内  
TEL：047-442-1860

月・水・土 9：00～16：00

e-mail：main@kifa.gr.jp

鎌ヶ谷市国際交流協会 広報誌

## 多文化交流促進へ、一層の創意と工夫を

### ——2015 年度 KIFA 総会開く——



2015 年度の総会が 5 月 17 日 (日)、鎌ヶ谷市総合福祉保健センターで開催されました。信夫稔会長=写真=は開会のあいさつで、「事務局体制がきり鎌ヶ谷市民会館3階のかまが

やワールドプラザに移って、いろいろ困難な事情もありましたが、会員のご理解ご協力により、なんとか事業目的を達成することができた1年でした」と述べたあと、「スタッフ一同、多文化交流促進へ一層の推進を図ってまいりますので、ご支援ご指導をお願いします」と協力を呼びかけました。

続いて来賓を代表して清水聖士市長から「KIFAの皆様には国際交流にかかわる、外国語講座、外国家庭料理講習会、バスツアーなど草の根の国際交流を活発にやっただき、鎌ヶ谷市と外国との友好関係に大変役に立っています」と謝意を表されました。

さらに、「ネパール地震には日本も緊急支援チームを派遣しました。困っている国を助けるということも日本の友好関係、ひいては平和につながっていくと思います。KIFAの活動も、多くの国の方々との交流を行うことで、友好関係を作っただき、大変重要な意義のある活動なので、いろいろ困難な事情はあっても頑張っただき活動していただきたいと思



総会に出席された理事の皆さん

#### ◎新年度事業計画、規約改正案など承認

続いて総会議事に入り、最初に信夫会長より理事、法人・団体会員の紹介があり、行政からの理事4名のうち3名が4月の人事異動、職制の変更による辞任が提案され承認されました。

河内昭延氏の司会により、議長に理事の若槻博隆氏を選出し、2014 年度「事業報告」「収入支出決算並びに KIFA 基金・留学基金収入支出決算」「監査報告」の一括審議がなされ、質疑のあと拍手で承認されました。

続いて 2015 年度の「事業計画(案)」とそれに伴う「収入支出予算(案)」について説明が行われ質疑応答のあと、いずれも提案通り承認されました。

最後に信夫会長から規約改正案(役員定員の変更および事務局の変更)が提案され、満場一致で承認されました。なお、今年度は役員改選がなく、会長・信夫稔(交流部会長兼務)、副会長・藤井明恵、会計・藤本克代(広報委員長兼務)、研修部会長・吉川秀子、青少年委員会委員長・平田真裕美の皆さんが引き続き任に当たります。

#### ◎2015 年度<法人会員>

(株) 岡田産業	東葛食品 (株)
私市醸造 (株)	鎌ヶ谷造園土木 (株)
茂野製麺 (株)	新和設備 (株)
(株) プロスプラザ	(株) タニマ
那須設計工務 (株)	千葉銀行鎌ヶ谷支店
ニッポー (株)	(株) 人形工房武人
鎌ヶ谷総合病院	爽歯会みちのべ歯科医院

#### ◎2015 年度<団体会員>

鎌ヶ谷青年会議所	千葉県立鎌ヶ谷西高等学校
鎌ヶ谷市商工会	鎌ヶ谷ライオンズクラブ
鎌ヶ谷庭園業組合	鎌ヶ谷市自治会連合協議会
鎌ヶ谷小中学校長会	鎌ヶ谷ロータリークラブ
千葉県立鎌ヶ谷高等学校	

(順不同、敬称略)

## 多文化交流「パパ・ママサロン」

7月6日(月)きりり会館で新しい事業として多文化交流「パパ・ママサロン」が開催されました。

雨が降る中、外国人と国際結婚をしたママ達が乳幼児から幼稚園前の子どもを連れて集まりました。

イギリス、インドネシア、韓国の方々が参加し、子どもを遊ばせながら、悩んでいること、不安に思っていることを話したり、共感したり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

多言語版 地震の備えや地震が起きた時の注意、行動などを時系列でまとめたリーフレットなどが配布され、まずは自己紹介です。サロンでは国際結婚や外国人住民として感じていること、子どもの言語についての悩みや不安などが話されました。国籍は違っても共通する悩みが多く、参加者の中でアドバイスや意見交換も交されました。

「このようなイベントを待ち望んでいました。国際結婚をした人と話をしたり情報交換がしたかった！海外では国際結婚の夫婦やカップルは特別視されないが、日本では特別視されていると感じる。」「国と国との政治的状況が学校生活や子ども同士の発言や関係に影響を及ぼすことがある。子ども達は各国の政治的な事情に左右されずに仲良くできるよ

うに親が配慮できると良い。」「日本と自国または婚姻相手の教育のどちらを選択するか悩む。」などの声がありました。小学生の子どもを持つママからの体験談やアドバイスを聞く場面もあり、参加者は安堵したり、共感したり、あつという間の2時間でした。「楽しかった！子どもを遊ばせながら、交流しながら他の人の意見や情報を聞くことができて良かった！」と有意義な時間を過ごされたようです。子ども達も他のママさんやお手伝いのママさんに抱っこしてあやしてもらったり、一緒に遊んだり、たくさん交流できました。

今年度1回開催の予定でしたが、参加者全員からは是非、定例化して欲しいとの声もあり、定例化については未定ですが、急遽10月5日(月)第2回を開催する予定です。詳細はホームページ、ポスターなどでお知らせします。



参加者の親子



スタッフと遊ぶ子ども達

## 部屋に一步入るとそこは英語の世界…第1回英会話サロン

3名の英語圏のゲストを招き、ゲストそれぞれのテーマによる5分間の基調スピーチを聞いた後3テーブルの参加者の所へゲストが順番に訪れ、お茶を飲みながら英語で楽しくお話をする会です。

2015年度第1回英会話サロンが7月12日(日)鎌ヶ谷市総合健康福祉センター6階の大会議室で行われました。参加者は外国人4名を含み36名。ゲストスピーカーはアメリカ人のAdam DornakさんとEllie Michalikさん、ニュージーランド人のTroy Williamsさんです。



**Adam**さんのテーマは『アメリカと日本における夏の過ごし方の違い』です。出身地のテキサスの夏は40℃以上が普通なので学校は6月から3か月間夏休みになります。自宅のエアコンはコストが高いので、空調の効いた映画館で過ごしたり、野外でバーベキューをしたり、親の仕事がある間はサマーキャンプに参加したりして過ごします。アメリカでは独立記念日、勤労感謝の日、クリスマスの休暇をととても大切にしています。

**Troy**さんのテーマは『違う国での生活』です。国籍はニュージーランドですがオーストラリアで9年過ごしました。昨年からは妻の母国日本で暮らしています。ニュージーランド



ではビーチに5分で行ける場所があったり、馬で学校に行ったこともあります。好きなラグビーが強いなど良い所も沢山ありますが、経済力が弱いのでオーストラリアへ行きました。しかし毒を持っている怖い生き物がいたり、自分(190cm)より大きいカンガルーに襲われそうになったこともあります。日本で暮らしてみても、伝統文化もいろいろあり、一番良い国だと思いました。



**Ellie**さんのテーマは『水は極めて重要な要素』で、いつも大きな水筒を持ち歩いています。飲食物にはアルコールやコーヒーなど、体の水分を奪ってしまうものもあります。体の組成や運動機能を適正に保つためにも、1日2リットルの純粋な水を飲むべきだと思います。日本の水は安全でおいしいですから。

三つに分かれたテーブルディスカッションでは、どのテーブルでも全員が会話に加わり和やかな様子でした。

## 国際協力体験記 in メキシコ

KIFA 会員 黒須英典

## ◎JICA シニアボランティアとして 3 年間滞在

私は人的技術交流を通じた国際協力で 2012 年 3 月から 3 年間、メキシコシティの南東部にある第 6 工業高校 (Cetis 6) で、中堅技術者育成を目的とした品質管理系技術の指導を、教師達に実施しました。指導は小集団グループを編成し、学習環境の整備のために 5S (整理、整頓、清掃、清潔、躰) の実行、実習室の安全活動、品質管理系の教科書作成でした。とくに、5S は企業で必要な知識として脚光を浴びており、現地事務所提案で派遣 SV (シニアボランティア) で 5S 分科会を組織し、企業の視察や各 SV の活動拠点の訪問等で 5S 活動を推進しています。

## ◎メキシコシティの概要

私の任地は 13 世紀末に湖の中に建設されたアステカ帝国の首都で、15 世紀のスペインの征服で大々的に埋め立てられた中央高原地帯の標高 2250m の外輪山に囲まれた盆地で、近郊を含めた人口約 2000 万人のメキシコ最大の都市です。

メキシコ市郊外 Teotihuacan



気候は日本とは異なり、太陽が出ている日中は一年を通して真夏ですが、毎日 1 日の温度差が大きく、8 月でも朝晩は冷えこみ、冬期の朝は手袋、オーバーコートが必要な日もありました。湿度は一年を通じて乾燥気味です。季節は雨期、乾期に別れ 4 月～10 月が雨期で、この時期の雨は突然どしゃ降り状態になり、天気はめまぐるしく変化します。あるメキシコ人は「朝、外に出て今日の天気を予測する」と言っていました。さらに、メキシコ人の気性を皮肉り「気候と一緒に」と言っていました。

市内には多くの歴史的建造物を含む観光スポットがあり、東西南北に張りめぐらされた地下鉄やメトロブスと称する公共バスで訪問できます。地下鉄は行先に最終駅が表示され、全線同一価格の安価で安全な交通手段と言えます。タクシーの利用も可能ですが、後部窓ガラスに顔写真を貼り、安全を強調しており、それだけに種々の事件が起きています。

## ◎異文化習慣

街中では交通信号無視が目につきます。車優先社会で、他人を頼りにできないお国柄、自分の身は自分で守る事が大切であり、交通信号を信頼するより、「自分の目で安全を確認」が理解できます。電車、バス内では老人に積極的に席を譲る優しさ、銀行の前で長時間辛抱強く順番を待つ忍耐強さ、何かをしてあげたときに返される「グラシアス」という感謝の言葉、咳やくしゃみをした人に「サルード」と声をかける親しさ、いたるところでの無神経な大音響の音楽、アオリータ(直ぐに)とかシンコミストス(5 分)と条件反射的に言う口癖、時間にルーズで約束を無視してもその事に対する詫びは一切しないマナーに気づきます。とくに、時間にルーズや約束の無視はいろいろな場面で遭遇しましたが、同僚のメキシコの皆さんには日常茶飯事の出来事らしく怒ることなく、平常心でした。

習慣としては、お湯は鍋で沸かす、インスタントコーヒーはコップに湯を満たした後粉末コーヒーを入れる、先生達は朝食を食べない、などがあります。

珍しいものは、有名な“死者の日”のカトリーナさんです。カトリーナさんは、革命以前の 1910 年にメキシコの風刺画家ホセ・グアダルルーペ・ポサダによって描かれた、贅沢三昧の上流階級への風刺的意味合いの比喻だそうです。“死者の日”は彼女が主役になっています。そばにいた抱っこされた子どもは、その絵を見て泣きだしました。



死者の日のカトリーナさん

## ◎おわりに

赴任前に過去数回、仕事や観光でメキシコを訪問した経験がありますが、こちらに赴任して観光の時とは異なるメキシコシティにおける文化習慣の違い(異文化)を学びました。異文化に接することは楽しいものばかりではなく、時にはいらいらし、腹がたつ事もありますが、異文化と思えばいたし方ないことです。メキシコは多様性の国とも言われ、私の異文化経験はその一部だと思います。今回の国際協力を通じて知った異文化を日常生活に役立てていきたいと思っています。

## 多国籍で楽しんだ日本語夏祭り

7月15日(水)鎌ヶ谷市総合健康福祉センター6階の400名収容可能な大会議室で『日本語夏祭り』が、夜7時より開催されました。7月8日で第1期が終了し、参加費フリーで行われるスペシャルレッスンの第1日目は夏祭りです。

受講生と家族、KIFAが各種の事業でお世話になっている外国人やその友人も参加して、外国人は10か国25名、日本語指導ボランティア、浴衣着付け、運搬、太鼓指導、取材者、ボランティアら日本人参加者15名の計40名の参加がありました。

はじめに参加者の浴衣着付けから。日本語ボランティアの皆さんなどから、数多くの浴衣を貸し出していただきましたが、自ら浴衣を持参した外国人も数人いて、日本の夏祭りや浴衣のイメージがしっかりと結びついている事を感じます。

着付けが済んだところで輪になって、名前、国名、趣味を日本語で自己紹介後、お待ちかねの飲み物、軽食サービスへ。KIFAパーティで毎年好評なインドカレーとナン、ラスク、ビスケット類等の菓子類をKIFAが提供し、参加外国人からの差し入れで杏仁豆腐、油揚げの煮物、豆入りサフランおこわなど、国際色豊かな料理が並びました。



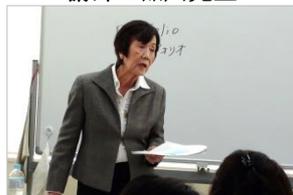
浴衣を着飾って記念写真

### —充実の7日間—

## 日本語ボランティア養成講座

6月20日から8月1日まで外国人に日本語を日本語で教えるためのボランティアを養成する基礎講座前期7日間18時間を行いました。

講師の品川先生



日本語を日本語で直接指導し、文型(文法)をしっかりと習得できるように指導するノウハウを学びました。

養成講座を受けてみて、普段使っている日本語を誤って使っているかに気付いた受講生も多かったようです。

近い時期に後期講座を開催する予定です。



会話や各コーナーで楽しむ参加者たち

お腹が落ち着いたところで太鼓の練習や盆踊り、ヨーヨー釣り、けん玉など、それぞれに楽しみました。そこここに会話の輪ができ、各国語が飛び交っていました。共通語に困った時は日本語の出番です。講座で日本語を習得した受講生が通訳を買って出してくれ誰もが楽しそうに積極的に話す多文化交流の輪ができていました。

8月5日(水)19日(水)7:20pm~8:50pmは受講生に対するフリーレッスン。第2期は9月2日(水)より開始します。お申込み、連絡はきらり鎌ヶ谷市民会館3階KIFA窓口(月・水・土9:00~12:00、13:00~16:00)

## KIFA イベントのお知らせ

交流バスツアー：9月13日(日)  
(日光東照宮、田母沢御用邸)

KIFAパーティ：11月29日(日)  
(総合福祉保健センター)

詳細は市広報またはKIFAホームページで。



**編集後記** 総会の祝辞において、「草の根の国際交流、友好関係の醸成が真の世界平和の礎になる」と、清水聖士市長はKIFAの国際交流事業を評価されました。私たちボランティアには大変な励みとなっています。新たに「パパママサロン」として、多国籍の子育て世代の交流会や2年ぶりの「日本語ボランティア養成講座」を開催し、「日本語を教えらるる市民」の充実を図りました。ホームページなどWebでの情報もぜひご覧ください。(K.F)